

先端的代数学融合研究部門 代数幾何学講演会

下記の要領で三井健太郎氏 (神戸大学大学院理学研究科) による講演会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。¹

日時: 2023年1月6日(金)、1月9日(月)

場所: 東京理科大学 理工学部 4号館 3階数学科セミナー室²
東武アーバンパーク線(野田線) 運河駅徒歩7分

世話人: 伊藤 浩行 (東京理科大学)

講演予定:

1月6日(金) 13:30 – 15:00 商特異点に関する講演

1月6日(金) 15:30 – 17:00 楕円曲面に関する講演、その1

1月9日(月) 13:30 – 15:00 楕円曲面に関する講演、その2

三井氏は1月5日から11日まで本学に滞在されます。尚、内容、時間等は議論に応じて若干変更される可能性があります。

講演タイトル: Quotient singularities of products of two curves and their dual graphs

内容: 有限群が作用する2曲線の積から誘導される曲面への群作用を考える。標数0の場合、その商特異点はHirzebruch – Jung特異点であるが、正標数の場合は状況が異なり複雑になる。これまでの研究で、群の位数が標数で丁度1回割り切れる場合は、具体的な特異点解消や不変量計算が可能となった。更に複雑な群により特異点解消の双対グラフが複雑な形状となる例の構成を目指して解説する予定である。

講演タイトル: Elliptic surfaces of Kodaira dimension zero

内容: 正標数代数閉体上定義された小平次元0の楕円曲面はBombieriとMumfordにより分類され、標準束公式等を応用して存在し得る退化ファイバーの組み合わせの表が与えられた。この表を完成させたのが今回の結果である。標数0の場合は表に現れる全ての組み合わせが実際に存在するが、正標数の場合はそうではない。今回の研究では、その理論的背景も明らかにした。

¹東京理科大学総合研究院総合研究機構「先端的代数学融合」研究部門主催

²<http://www.tus.ac.jp/info/access/nodcamp.html>